沼津西ロータリークラブ週報

夢をかたちに

夢 を か た ち に

2008～2009年度
第 18巻 44号
2009年6月4日

● ｸﾗﾌﾞﾃｰﾏ ●
目指そう、増強と四つのテスト

■■ 本日のプログラム ■■
クラブ協議会 次年度活動計画

例会場：ブケ東海（18:30点鐘）　例会日：毎週木曜日　第三木曜日：18:30

事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメイル●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 855 例会 会長挨拶◆◆

鈴木泰次 会長

いよいよ本年度最後の月になりました。毎回毎回、私の拙い話を聞いていただきまして誠にありがとうございます。あいさつは、いまだに慣れることなく苦手です。

本日は、「会合でのあいさつの難しさ」について話したいと思います。この話は、毎日新聞静岡支局長・照山哲史氏のお話を要約したものです。

==========

支局長という立場上、さまざまな会合や式典に出席することが多い。自らあいさつする時には、どんなことをどのくらいの時間で話すべきか結構気を使う。だから、自分がそうしなくていい時は、勉強させてもらうつもりで話を聞いている。

石川嘉延知事のあいさつには感心させられることが多い。必ず笑いを誘う言葉があるが、嫌みがなくウイットに富む。脱線したり言葉に詰まることもなく、関係者への気配りも忘れない。静岡市内で先月31日あった静岡空港の開港記念祝賀会でのあいさつもそうだった。「飛行機は逆風に向かって飛ぶ。計画決定から20年以上かかって開港する空港は、幾多の逆風にさらされた。飛行機にとって最高の条件の空港」という趣旨の話、笑いを誘った。

苦難の歴史を横にやり、祝賀ムードを盛り上げるに十分だった。あいさつで原稿を用意する人もいるが、あまりいただけない。伏し目がちで棒読みに感じることが多く、気持ちが伝わらない。場の雰囲気に応じた言葉が出てこないだけでなく、堅苦しくなりがちだ。石川知事が原稿を手に話すのを私は見たことはない。開港記念祝賀会では多くの人があいさつに立った。原稿を見ながら最後に日付や自身の名前まで読み上げた国会議員がいて、誰かの代読だったかと勘違いしそうになった。

また、ある国会議員は「開港日の一番機に乗る人が少ないと聞き、自分の支援者に声をかけまっくたので、当日は大丈夫です」と胸を張っていた。事実としても祝賀の会ではふさわしくないと思った。話に派手さはなくても、聞いていて安心できるあいさつもある。そういう人はいつでもそうで、誠実さを感じさせる。限られた時間であいさつするには、人柄のすべてとは言わないが一端は出るように思う。だからこそ、あいさつは難しい。

==========

以上が支局長のお話ですが、これほどあいさつの場の豊富な方でも難しいものであれば、私などは開き直って自分の思いで話をすれば良いと思うのですが、その開き直りもできません。本当に人前で話をするのは難しいものです。

6月のプログラム

856回 6月11日(木)	12:30 ブケ東海 新旧理事会 勝亦ガバナー補佐期末訪問
857回 6月18日(木)	18:30 ブケ東海 会員卓話 夜間例会 1年を振り返って 会長・幹事
858回 6月25日(木)	18:30 ブケ東海 さよなら例会 クラブ管理運営委員会 時間変更

会長	鈴木泰次	幹事	久松 但
会報委員長	名古良輔	編集者	名古良輔

出席委員会報告

●ビジター

1. 稲葉早智子様：沼津RC

★出席報告（会員総数26名）

例　会	会員数	出席数	MU	出席率
855回	26名	23名	－	88.46%
853回	26名	18名	2名	76.92%

●欠席者(3名)
後藤　昭、宮口雅仁、鈴木博行

●他クラブへの出席者
鈴木博行（6/2　沼津北RC）

●スマイル報告
1. 大村保二：妻の誕生日のお祝いありがとうございます。
2. 久松　但：井上次期会長、杉山次期幹事、がんばってください。
3. 芹澤和子：週報作成の際には、大変お世話になりました。
4. 鈴木良則：森光子にあやかって、スクワットを始めました。
5. C・Dテーブル：テーブル会の残金です。
6. 大村保二：所用につき、早退いたします。
7. 尾島康夫：所用につき、早退いたします。
8. 西島邦彦：所用につき、早退いたします。

クラブ協議会報告

次期幹事　杉山寿章君

次年度に向けて、各委員の方より活動計画報告をしていただきました。井上次期会長よりのクラブテーマは、**「ロータリーで仲良く」** です。

クラブ管理運営委員会は年間プログラムの説明、スマイル奨励（1人年間10,000円以上）のお願い、出席、親睦活動の推進等について報告がありました。

クラブ広報委員会は会報、広報、雑誌等について報告がありました。

会員増強維持委員会は会員増強、ロータリー情報、会員選考、職業分類、純増１名を目指し会員増の活動する旨の報告がありました。

奉仕プロジェクト委員会は職業、社会、国際奉仕について、また今年度にインターアクト立ち上げ、設立があり会員の協力、委員会一同の力を合わせて奉仕活動する旨の報告がありました。

ロータリー財団委員会はロータリー財団、米山活動についての報告がありました。

SAAは例会の司会進行。ビジターゲストに良い印象を与え、楽しさの中にも緊張感のある例会にしたいとの報告がありました。

各委員長の報告のあと質疑応答に入り、奉仕プロジェクト委員会については、インターアクト設立の検討を行いたいとの話がありました。また、会員減少により予算が逼迫するとの話がありました。

井上次期会長の「ロータリーで仲良く」の計画も、会員の皆様の協力によってクラブ運営がスムーズに運営されますので、よろしくお願いします。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等
①静岡南ロータリークラブ
6月09日（火）休例会
メーキャップは受け付けません。
6月30日（火）夜間例会　於：東海軒会館
18::00より
メークアップ　11：30～12：30
於：中島屋八幡ガーデンズ2Ｆロビー
②富士宮ロータリークラブ
7月20日（月）休日休会
③御殿場ロータリークラブ
6月11日（木）一泊例会　於：石和温泉ホテル慶山
18:00より

2. 連絡事項
①さよなら例会の青表紙を各テーブルに置きますので、ご記入をお願いします。

編集後記

いよいよロータリー年度も最終月。今年度も行く人来る人、あっという間の一年でした。金融危機は日本を支える屋台骨の自動車産業を直撃。しかし、次の世代の主役となるHV車が普及元年を迎え、電気自動車も登場。クラブが30周年を迎える時、世界はどうなっているでしょうか？　（文責　名古良輔）

夢をかたちに

沼津西ロータリークラブ週報

夢 を か た ち に

2008～2009年度
第 18巻 45号
2009年6月11日

● ｸﾗﾌﾞﾃｰﾏ ●

目指そう、増強と四つのテスト

例会場：ブケ東海　　例会日：毎週木曜日
（12:30点鐘）　　第三木曜日：18:30

事務局●TEL&FAX　055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメイル●numawestrc@ny.thn.ne.jp

■■　本日のプログラム　■■

勝亦ガバナー補佐期末訪問　新旧理事会

◆◆第 856 例会　会長挨拶◆◆

鈴木泰次 会長

本日は、今年度の締めくくりとして、勝亦ガバナー補佐に訪問していただいております。勝亦ガバナー補佐にはこの1年間ご指導、ご鞭撻を頂きまして誠に有り難うございました。心より御礼申し上げます。

ところで、皆様はベーシックインカムという言葉をご存知でしょうか。年金、児童手当、失業手当、生活保護手当といった従来の社会保障を、所得水準、年齢に関係なくすべての国民に一律に保障される、最低限所得保障によって置き換えようとするものです。

このように聞くと、寛容すぎて実施の可能性が乏しいように思われますが、いくつかの経済効果も期待できます。今、問題になっている年金、失業手当等の管理支払いにかかる行政コストの大幅な削減が見込めます。職業訓練や生涯教育期間中の所得保障を提供し、労働市場の柔軟化を進めることができます。

所得収入がなければ乞食をするか死ぬか、刑務所に入るかしかありません。すでに日本の刑務所は受刑者であふれています。多くの犯罪者が生活に困って入所しており、社会的弱者の収容施設と化しているとも聞きます。受刑者一人の経費が月におよそ22万円掛かるようです。

司法関係の予算も大幅に削減できるでしょう。福祉予算も大幅に削減でき、その他の国、地方の予算も削減でき、当然公務員の人数も業務縮小により大幅に削減できます。 それらに当てられている税金をこのベーシックインカムに回すわけです。消費が活性化するので、経済は上向き、税収も増えます。また、企業は自社の従業員にも支給されるので、比較的低い人件費で雇用でき、中国その他の発展途上国にも対抗できるようになるでしょう。

何よりもいいことは、たとえば、国民一人一人に一律月々8万円支給するとして、夫婦2人と子供3人の家庭には月40万円の収入があり、働かずに子育てに専念でき、少子化問題解決に大きく貢献できます。 日本の経済発展は1億2千万人という大きな人口による消費市場があってこそ伸びたのです。人口が減れば確実に国力は低下します。少子化問題は日本国家の存続にかかわる重要な問題なのです。

この制度は、いいこと尽くめのように見えますが、支給する金額によっては楽をしようとする人間を増やすことにもなりかねません。また少ないと社会秩序の安定にもかかわってきます。

何をやっても一長一短はあるもので、大いに研究の余地があると思います。

会　　長	鈴木泰次	幹　　事	久松　但
会報委員長	名古良輔	編　集　者	名古良輔

6 月のプログラム

8858回 5 6月25日(木) 月	18:30　ブケ東海　さよなら例会 クラブ管理運営委員会　時間変更

7月のプログラム

8859回 5 7月02日(木) 月	12:30　ブケ東海　会長、幹事、 クラブ管理運営委員長、 奉仕プロジェクト委員長の抱負
860回 7月09日(木)	12:30　ブケ東海　クラブフォーラム インターアクトについて　理事会
861回 7月18日(土)	18:30　ブケ東海　前年度会長・幹事 慰労会　クラブ管理運営　曜日変更 夜間例会
862回 7月23日(木)	12:30　ブケ東海　クラブ協議会 ガバナー補佐来訪
863回 7月30日(木)	12:30　ブケ東海　クラブ協議会 前年度事業･決算報告　出席表彰

出席委員会報告

●ゲスト

1. RI第2620地区静岡第3分区ガバナー補佐
　勝亦　守様
2. 同事務局：鈴木宏昌様

●ビジター

1. 小木曽誠様：沼津北RC

★出席報告（会員総数26名）

例　会	会員数	出席数	MU	出席率
856回	26名	21名	－	80.77%
854回	26名	21名	1名	84.62%

●欠席者(5名)

後藤　昭、成田みちよ、西島邦彦、佐野　稔、
芹澤和子

●他クラブへの出席者

無し

●スマイル報告

1. 鈴木良則：鈴木泰次会長、久松　但幹事、1年間、ご苦労さまでした。
2. 尾島康夫：6/25所用により、さよなら例会、欠席します。
3. A.B.Mテーブル：テーブル会残金です。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①沼津柿田川ロータリークラブ
　7月20日（月）　休会（海の日）
②富士ロータリークラブ
　7月01日（水）　期首懇親会の為夜間例会　於：ホテルグランド富士　19：00～
③吉原ロータリークラブ
　6月25日（木）　会長幹事慰労会の為　夜間例会　於：ホワイトパレス

理事会報告

■本年度理事会報告

1. 報告事項
　ありません。

2. 協議事項

①後藤　昭君・佐野　稔君より退会申出のあった件
・退会を承認する。

②沼津市商工会より、原・浮島ふるさと夏まつり花火大会への協賛要請ある件
・協賛金として30,000円支出する。

③バナー購入の件
・バナーが残り3枚のため、100枚購入する。

④SAA及び副SAAのたすき等の購入の件
・SAA予算の範囲内でSAA・副SAAのたすき及びバナースタンド付き旗セットを購入する。

⑤今年度スポンサーとなった会員に対するお礼について
・会員増強維持委員会の予算内で、今年度スポンサーとなった会員3名に対し、タイタックを贈呈する。
以上①～⑤を一括承認

■次年度理事会報告

1. 協議事項

①7月プログラム　クラブ管理運営委員長　久松但君、プログラム担当　杉山壽章君
・委員会の原案どおりとする。

②7～8月の座席表について　クラブ管理運営委員長　久松 但君、SAA　栗原侑男君
・委員会別とする。

③森延敏君　名誉会員継続手続きの件

④慶事のプレゼント変更の件
イ.商品内容変更
ロ.名称変更　現行　→　変更
会員誕生日→　従来通り
婦人誕生日→　婦人（家族）誕生日
結婚記念日→　入会記念日

⑤前年度会長・幹事慰労会の件
・日時：平成21年7月18日（土）
例会18:30～　懇親会18:50～
・場所：ブケ東海　ベンゲルルーム
・予算：
【収入の部】

会費	@7,000×24名＝	168,000円
食事代	@2,000×25名＝	50,000円
クラブ管理運営委員会費		37,000円
合 計		255,000円

【支出の部】

食事代	@7,000×25名＝	175,000円
コンパニオン代		80,000円
合 計		255,000円

⑥川口事務局の給与契約更新
以上、①～⑥を一括承認。

ガバナー補佐期末訪問にそえて

静岡第3分区
ガバナー補佐
勝亦　守君

皆様こんちには。2008-2009年度RI第2620地区のガバナー補佐の勝亦守です。

ようやく期末訪問の時期がやってきました。私の任期も1ヶ月ちょっと(1ヶ月弱)となりました。

GSEの件では、お一人1,000円ずつのスマイルを戴きました。 また、11月25日の歓迎会にも出席して戴きまして、ありがとうございました。文化の違いから、おやっ?と思う点もないわけではなかったですが、充実した国際交流が図れたものと考えております。

また、4月11日のIMにおしきましては、「温故知新」のテーマに、劇団「いず夢」演劇、女優藤田弓子さんの講演、イートルズによる「ビートルズメドレー」など、昔懐かしいものに触れ、忘れていた大事なものを思い出すと(事)ができましたでしょうか。 ホストクラブとして至らぬ点も多々ありましたが、ロータリーの友情に免じて、お許し下さい。IMも、皆様のご協力により無事終了することができまして、どうもありがとうございました。

さて、期首訪問の時にも申し上げましたが、今年度のRI第2620地区のガバナーである牧田静二氏が掲げている地区目標の最優先事項は、会員増強ですが、抽象的な目標ではなく、具体的な目標として「各クラブ純増1名以上」を挙げられておりました。貴クラブにおきましては、この目標を達成することができましたでしょうか。貴クラブにおける具体的な取り組みは？

ガバナー補佐事務局が任期途中で交替するという事態もございましたが、沼津柿田川ロータリクラブのみんなで力を出し合い、また、第3分区のロータリアンの皆様にも支えられながら、なんとかここまでやって参りました。 ここまでこれたのは、各クラブの会長・幹事様はじめ、ロータリアンの皆様のご協力と友情の賜物であります。大変感謝しております。どうもありがとうございました。

==========

会員増強委員長

栗原侑男君

今年度入会者は4名、退会者は2名、6月末で退会届が1名計3名です、ガバナー方針が純増1名以上、会長は純増2名以上との方針でしたが届きませんでした、お詫びを申し上げます。

会員増強の重要性はどのような組織でも自然に任せると、会員の高齢化、病気、転勤、引越しなどで会員が減少していきます。

ロータリー・クラブも例外ではありません。会員増強は不可欠です。新しいロータリアンは、クラブに斬新なアイデア、新しい活動分野をもたらし、クラブの活力を増します。知り合いが広がり、奉仕の力が高まります。

ロータリー家族に理解と協力を求め、地域社会へ広報の推進、ロータリーの奉仕と、ロータリアンとその家族が受ける恩恵を強調する注目に値するような充分な広報などが必要です。

会員増強は永遠に続きます。

編集後記

勝亦　守ガバナー補佐をお迎えし、二年前の自分を思い返していました。ガバナー補佐もお話の中で述べておられたように、クラブ会員の皆様、そして分区内の各クラブの協力があって初めて任務を果たせるものです。改めて感謝の思いがこみ上げてきました。

さて6月はロータリー年度の最終月。自分自身がクラブ会長を務めましたのは2000-2001年度でした。今思い出すと滑稽な思い込みもずいぶんありました。ガバナーの公式訪問とは、どんなものか。経験したことがありませんから、想像だけがどんどん膨らみます。会長･幹事との面談でガバナーはひょっとしたら、「名古君、ロータリークラブを創設したポール・ハリス以外の三人の名前は知っているかな？」って訊かれるかもしれない、そんなの知らない、どうしよう。「え、知らないの。沼津西ロータリークラブって、その程度なのか？」こうなると想像ではなくて妄想です。

それまで、古紙回収に直行していたロータリーの友誌をファイルし、質問されそうな項目を単語帳に記録して仕事の合間に必死になって暗記しました。学生時代に戻ったようでした。

その後、クラブ会長としてガバナー公式訪問を経験し、またガバナー補佐として各クラブの公式訪問に随行しましたが、四人の仲間の名前をガバナーが質問されたことは一度もありませんでした。たぶん、これからも無いと思います。

では、あの苦闘は無駄な努力だったか？　そんなことはありません。あの一年で身に着けた知識、経験がロータリアンとしての自分の基礎であることは間違いありません。一会員に戻ってもロータリーの友誌を隅から隅まで読むロータリアンは、たぶんポール・ハリスと米山梅吉翁だけではないでしょうか。もっともその頃ロータリーの友誌は、まだ無かったと思いますが。

一年任期がロータリークラブの最大の特徴です。だからこそ、その立場になった一年間は可能な限り知識や経験を積み重ねるよう努力することが、ロータリアンとしての足腰を決めるのでしょう。被害妄想に苛まれた自分が今感じているのは、そんなことです。

会長･幹事さん、一年間ご苦労様でした。

（文責　名古良輔）

----------5月分出席一覧----------

後藤（　0　）	久松(　④　)	井上(　④　)	栗原(　④　)	宮島（ ④ ）	宮口（　3　）	本村(　2　)
名古（　3　）	成田(　3　)	西島(　2　)	西山(　3　)	大村(　④　)	尾島(　1　)	佐野（ 2 ）
芹澤貞(　④　)	芹澤和(　④　)	重光(　④　)	杉山了(３，１)	杉山真(　④　)	杉山壽(　④　)	鈴木博(　④　)
鈴木泰(　④　)	鈴木良(　3　)	土佐(２，２)	植松(　④　)	渡辺(　④　)		
			例会出席%　79.81　%		地区報告%　82.69　%	

氏名(ホームクラブ出席数、他クラブ出席数)＋超過出席数。丸数字はホームクラブ出席100%を示す。

沼津西ロータリークラブ週報

夢をかたちに

2008～2009年度
第 18巻 46号
2009年6月18日

● ｸﾗﾌﾞﾃｰﾏ ●

目指そう、増強と四つのテスト

■■ 本日のプログラム ■■

会員卓話 1年を振り返って 会長・幹事

例会場：ブケ東海 例会日：毎週木曜日
（18:30点鐘） 第三木曜日：18:30

事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメイル●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 857 例会 会長挨拶◆◆

鈴木泰次 会長

先週13日土曜日に、東急ホテルにて静岡第3分区の新旧会長・幹事会が行なわれました。現会長･幹事にとっては最後の会合です。新会長・幹事にとっては2回目の会合となりました。新会長の皆さんは、熱のこもった挨拶をされており、いよいよ新年度のスタートを感じさせる会合でした。

話は変わりますが、人間も動物も植物も、生命が誕生した時が他のものとの最初の出会いになります。植物は、一旦そこに根を張ると、まわりが自分にとってどんなに環境が悪くても自分の力で移動もできないし、環境を変えることもできません。芽を出したとたんに死んでしまうものも多くあります。一番自然環境に左右される生き物でしょう。動物は誕生間際、あるいは数年の間親が子育てをし、子供の命を守りながら自分の力で、生きていく術を教えていきます。

動物は、ある程度自分が生きて行くために合った環境に自分の力で移動ができます。しかし、自然環境を変えることはできません。それに、周りには何時も食料にしようとする敵が、隙を狙っているのです。最近では、いろいろな動物が、人間にペットとして飼われています。ペットは命の安全は保たれても、自由な行動はできません。人間はどうでしょうか。誕生してから20年近く親に育てられ、ようやく自分の力で生きて行くことができるようになるのです。人類は何万年もの間に、大脳の発達によりいろいろなものを発明し、自然環境も変えられる力を身につけました。命を維持するために殺し合いをしなくてもよいはずが、原子爆弾のような大量殺戮兵器まで開発してしまいました。

現在でも、世界のあちこちで争いが絶えず、多くの命が奪われています。また、飢餓で苦しんでいる人がいるかと思えば、一方では、金をかけて痩せる努力をしている人もいます。日本社会でも、いろいろなことが起き、自分の命は自分自身で守らなければならない社会に成りつつあります。国も個人も安全を守るために益々お金のかかる社会になるでしょう。

そこで、人々の出会いが非常に大事に成ると思います。最初の出会いである子供との出会い。親はその子の幸せを願うでしょう。子供が成長し社会に出て自分自身の力で生きていくことになります。そこでまたいろいろな人と出会うでしょう。気の合う人、合わない人、好きな人、嫌いな人、多くの人と会うことになります。しかし、人間関係を良好に保つために、自分に都合のよい人ばかりとお付き合いする分けには行きません。ストレスが溜まらず、ストレスが解消できる人とめぐりあうと私は幸せを感じます。私も常々そういう人間に成りたいとは思っていますが、なかなか成れないのが現実です。

7 月のプログラム

859回 7月02日(木)	12:30 ブケ東海 会長、幹事、クラブ管理運営委員長、奉仕プロジェクト委員長の抱負
860回 7月09日(木)	12:30 ブケ東海 クラブフォーラム インターアクトについて 理事会
861回 7月18日(土)	18:30 ブケ東海 前年度 会長・幹事慰労会 クラブ管理運営 曜日変更夜間例会
862回 7月23日(木)	12:30 ブケ東海 クラブ協議会 ガバナー補佐来訪

会 長	鈴木泰次	幹 事	久松 但
会報委員長	名古良輔	編 集 者	名古良輔

出席委員会報告

★出席報告（会員総数26名）

例　会	会員数	出席数	MU	出席率
857 回	26名	20名	－	76.92％
855 回	25名	23名	1名	92.31％

●欠席者(6名)

後藤　昭、本村文一、西山幸三郎、重光　純、
鈴木良則、杉山真一

●他クラブへの出席者

鈴木泰次、久松　但、井上武雄、
杉山壽章（6/13　会長、幹事会）

●スマイル報告

1. 久松　但：ホーム100%には、足りませんでしたが、昨年7月3週目以降、休まず出席できそうです。
2. 井上武雄：鈴木会長、久松幹事ご苦労様でした。
3. 杉山壽章：鈴木会長、久松幹事、ごくろうさん！
4. 土佐通孝：鈴木会長、久松幹事、大変でした。有難うございました。
5. 佐野　稔：6月末で、退会させて頂く事になりました。何も役に立ちませんでしたが、色々お世話なり、本当に有難うございました。
6. 鈴木良則：お蔭様で喜寿を迎える事ができました。これからも、宜しくお願いします。
7. 芹澤和子：6月11日、無断欠席致しまして、申し訳ありません。
8. クラブ広報委員会：新旧合同委員会での、残金です。

一年を振り返って

==　会長　鈴木泰次　==

昨年6月、次年度活動計画発表によって、いよいよ自分の年度が始まったなと思いました。本年度はクラブにとって大きな行事も無く、平穏無事に終わってくれるものとおもっておりました。

しかし、アメリカが震源となり、サブプライムローンの破綻に始まった世界同時不況により、日本も大打撃を受けました。製造業の生産は大きく減少し、所得の急減によりサービス業の売り上げも急激に落ちました。それにより、ロータリークラブにも大きな影響を及ぼしました。当初、クラブの目的として、会員増強を皆様方に強くお願いをいたしました結果3人の増員ができました。私自身いまだに一人の入会者も出しておりません。誠に恐縮の限りです。それに退会する方も数人に上り、クラブにとっても大変な時期となっております。　私自身の力の無さを痛切に感じております。

クラブの運営、活動については、本年度よりCLPの導入により、委員会の数を減らし、簡素化しましたが、事業活動は減少させずに行なった結果、各委員長の責任の度合いが増したように思いました。各委員長の皆様には大変ご苦労をおかけしたしました。心より御礼申し上げます。また本年度はGSE4人を静岡第3分区で受け入れることになり、当クラブも１人を受け入れました。ファミリーステイということで大村保二さんに気持ち良く引き受けてもらい、大変感謝申し上げております。

いずれにしても、クラブ運営は、メンバーの皆様が、集まり気持ちよく楽しく、有意義な活動ができることが一番重要ではないでしょうか。それゆえに親睦活動は、会員同志よく知り合い、友好を深めるために大事な活動だと思います。尚、クラブの運営につきましては、年間を通して公私共に忙しい中を久松但幹事に大変なご苦労頂きました。改め御礼申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様には多大なご支援とご鞭撻を頂きました。心より感謝申し上げます。

==　幹事　久松但君　==

昨年7月3日の抱負の時には、ホームでの限りなく100％に近い出席と積極的なスマイル、話上手になりたいとの目標を掲げました。

最初の100％に近い出席は、当初から7月17日の夜間例会は所用でどうしても出席できないことがわかっていましたので、この例会以外は全てホームでの出席を果たしたいとの目標でした。来週にあと1回ありますが、何とかその目標は果たせそうでほっとしています。

2番目のスマイルは、当初、出席した例会ではすべてスマイルをしようかと思っていたのですが、ぎりぎりに例会に出てきて忘れてしまったり、スマイルすることが思いつかなかったりで特に後半は少なめになってしまいました。それでも、何とか年間4万円以上はできたのではないかと思っています。

3番目の話上手になることは、なかなか難しそうです。話をする機会を何度か与えていただきましたが、自分の納得できるような話し方はできずじまいでした。

本年度は、前半にGSEがあり、後半はインターアクトクラブの準備に時間を使われたような気がします。しかし、色んな方々とお会いできて楽しく過ごさせていただきました。

次々年度は会長職で、まだまだ息が抜けませんが、今後ともよろしくお願いします。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①新富士ロータリークラブ

6月30日（火）→27日（土）　期末懇親会　於：伊豆長岡春草盧　18:00～

2. 連絡事項

①前年度　会長・幹事慰労会の青表紙を、各テーブルに置きますので、ご記入をお願いします。

沼津西ロータリークラブ週報

夢をかたちに

夢 を か た ち に

2008～2009年度
第 18巻 47号
2009年6月25日

● ｸﾗﾌﾞﾃｰﾏ ●

目指そう、増強と四つのテスト

■■ 本日のプログラム ■■

さよなら例会

例会場：ブケ東海　例会日：毎週木曜日
（18:30点鐘）　第三木曜日：18:30

事務局●TEL&FAX　055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメイル●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 858 例会　会長挨拶◆◆

鈴木泰次 会長

いよいよ本例会が本年度最後の例会になりました。思えばPETに参加しいよいよ始まったなと感じましたが、その時私のような人間に沼津西ロータリークラブの会長が務まるのかと思ったのも事実です。

しかし、受けた以上1年間やらなければならない。今更辞めるわけにはいかないと一種の開き直りの精神でした。

本年度よりCLP導入により、組織の変更を行い委員会の数を減らしました。CLPは少人数クラブにとって、効果的なクラブ運営、活動が行ない易いということで導入致しました。しかし、事業、活動は前年度とあまり変わらない計画となり、各委員長の皆様には、大変ご苦労されたここと思います。特に、クラブ管理運営委員会は、旧プログラム、親睦、出席委員会と活動量の多い委員会です。各委員の役割分担、活動の徹底等、井上武雄委員長始め委員の皆様には大変ご苦労されたことと思います。誠に有り難う御座いました。

クラブ広報委員会も毎週の会報発行に伴う負担も大変なものがあったと思います。私自身も、会長挨拶の校正等では大変ご迷惑をお掛け致しました。深く感謝申し上げます。

奉仕プロジェクト委員会、ロータリー財団委員会の皆様にも感謝申し上げます。SAAの宮島賢次さんには本年度より例会の司会進行もお願い致しました。大変ご苦労様でした。クラブ会計の佐野稔さんにもお忙しい中、有り難う御座いました。

会員増強維持委員会に付きましては、会員増強をクラブテーマとして掲げ、皆様方のご努力により入会者を得ましたが、アメリカのサブプライムローンに始る世界同時大不況よる影響もあり、退会者も出すこととなりました。会員増強は、クラブにとって永遠のテーマであると思います。

また事務局の川口恵美さんには何かとお世話になりました。御礼申し上げます。

最後になりましたが、幹事を務めて頂きました久松但さんには、クラブ運営のあらゆる面におきましてご活躍を頂き感謝にたえません。心より深く感謝申し上げます。

何れに致しましても、私が1年間会長の職を全う出来たのはクラブ会員お一人お一人のご指導とご協力の賜物と思います。重ねて感謝申し上げます。

また、次年度、井上武雄会長、杉山壽章幹事のご活躍を心よりご期待い申し上げますと共に、当クラブの益々の発展を祈念し、はなはだ簡単では御座いますが私の会長としての最後の挨拶とさせて頂きます。

7 月のプログラム

860回 7月09日(木)	12:30　ブケ東海　クラブフォーラム インターアクトについて　理事会
861回 7月18日(土)	18:30　ブケ東海　前年度　会長・幹事 慰労会　クラブ管理運営 曜日変更　夜間例会
862回 7月23日(木)	12:30　ブケ東海 クラブ協議会　ガバナー補佐来訪

会　　長	鈴木泰次	幹　　事	久松　但
会報委員長	名古良輔	編　集　者	名古良輔

出席委員会報告

●ビジター

6月25日に、ブケ東海にて、記帳された方

1. 伊藤栄章様：沼津RC
2. 大貫隆弘様：沼津北RC
3. 伊東哲夫様：沼津北RC

★出席報告（会員総数26名）

例　会	会員数	出席数	MU	出席率
858回	26名	20名	－	76.92%
856回	26名	21名	0名	80.77%

●欠席者(6名)

後藤　昭、成田みちよ、尾島康夫、佐野　稔、
鈴木良則、渡邉亀一

●他クラブへの出席者

●スマイル報告

1. 鈴木泰次：1年間お世話になりました。心より御礼申し上げます。
2. 久松　但：1年間、御協力ありがとうございました。
3. 井上武雄：鈴木会長、久松幹事、ご苦労様で、ございました。
4. 杉山壽章：鈴木会長、久松幹事、1年間ご苦労様。
5. 栗原侑男：鈴木泰次会長、久松幹事、1年間御苦労様でした。
6. 宮島賢次：鈴木会長、久松幹事、一年間お疲れ様でした。ありがとうございました。
7. 本村文一：鈴木会長、久松幹事、1年間御苦労様でした。
8. 名古良輔：鈴木会長、久松幹事、一年間御苦労さまでした。
9. 名古良輔：会報委員会のみなさま、一年間ありがとうございました。
10. 西島邦彦：鈴木会長、久松幹事、1年間ご苦労様でした。2年間お世話になりました。心から感謝申し上げます。
11. 西山幸三郎：3年間、ありがとうございました。
12. 大村保二：会長、幹事、ごくろう様でした。
13. 芹澤貞治：鈴木会長、久松幹事、1年間ご苦労様でした。
14. 芹澤和子：鈴木会長、久松幹事、一年間御苦労様でした。
15. 杉山　了：鈴木会長、久松幹事、1年間ご苦労さまでした。
16. 杉山真一：鈴木会長、久松幹事、一年間ごくろう様でした。
17. 鈴木良則：井上次期会長、杉山次期幹事、頑張ってください。
18. 植松　正：鈴木会長、久松幹事、一年間ご苦労様でした。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①富士宮ロータリークラブ
　7月24日（金）→裁量休会

2. 連絡事項

①ガバナー事務所より
過日6月14日に開催されました第2620地区次期インターアクト委員長、顧問先生会議において「インターアクト海外研修の中止」が、採択されました。

懇親会の様子

新旧会長が並んで

開会の挨拶は、杉山　了君

厳かな乾杯！　大村保二君

司会は名調子。杉山壽章　次期幹事。

一足お先のハワイアン・バンド

全日本ロータリアン社交ダンス選手権　沼津予選

西山幸三郎君も今日が最後になりました

綺麗どころを挟んで

会長ご夫妻を囲んで

中締めは栗原侑男君

いよいよ今年度最後の例会。みなさん、実に楽しそうでした。会長・幹事さん、一年間ご苦労様でした。

来週からは、また新年度が始まります。寄せては返す波のようにロータリークラブも営みを繰り返していきます。一人一人がロータリークラブの原点を忘れることなく、仲良く、楽しく活動に取り組めたらと願っています。みなさま、本当にご苦労さまでした。　（文責　名古良輔）